

1 【一行アキ】 「土木学会初代会長古市公威に関する研究」について【討議欄 A】

【一行アキ】

『土木史研究』,vol(年),pp.

5 【一行アキ】 討議論文の出展を明記する。  
『土木史研究』,巻名,ページ

討議者の場合は、タイトルの後に【討議欄 A】を付ける。

四谷 太郎\*

【一行アキ】

8 1~7行目までに討議題名、著者名をバランスよく配置して下さい。

9 本文は8行目から始める。  
10 討議者は、本文冒頭にて討議の対象論文と、  
討議を行う理由を簡単に記すこと。  
15 回答者は、指摘事項に対して回答の概略を簡単に記すこと。

【2段組みについて】

片側25字 真ん中に2~3字空ける  
2段組みにて作成し、1頁に収める  
(25字×51行×2段、文字9ポイント)

表 1 AとBとの関係

	A	B

〔表のキャプションは、上に記載〕

30 図・表・写真は、片段に納めていただきますが、  
文字が小さくなる場合は、全段を使用して下さい。  
(空きへの文字の組み込みは、原則として  
35 けて下さい)。



図 1 AとBとの関係

〔図のキャプションは、下に記載〕

45 写真1 四谷の地下空間(撮影: 、1992)

〔写真のキャプションは、下に記載〕

25 29 新しい章に移る場合は1行空ける  
2~3字 章--- 1 2 ..  
29 節--- (1) (2) ..  
29 項--- a) b) ..

【引用について】

他の論文や著作からの引用は、それが明確になるよう記述してください。

例

文章をそのまま引用する場合  
引用文の前後を1行あけて、引用文を1字下げ  
か「 」などで囲む

引用文を本文中に記述する場合引用文を挿入  
する場合はそれを「 」などで囲む。

著者の表現で記述する場合は不要。

いずれの場合も、必ず引用箇所の直後に  
( )内で引用文献を記すか、または参考文献  
の表記方法に従って引用箇所末に番号を付し、  
引用文献を示すこと。

【参考文献について】

参考にした文献は、引用順に番号をつけて本文末  
に

まとめて記載し<sup>1)</sup>、文中にはその番号を右肩に  
示して<sup>2)</sup>、文末の文献と対応させてください。

参考文献

1) Lamb,H: Hydrodynamics,6th ed.,Cambridge  
〔表のキャプションは、上に記載〕  
Univ.Press , P.65 , 1964.

2) Miles,J.W. : On the generation of surface  
waves  
by shear flows , J.Fluid Mech. , Vol.3 , Pt.2,  
pp.185 ~ 204 , Aug.1957.

著者数が多い場合、第一著者に続いて、図・表・  
写真のキャプションは、et al.と省略下さい。  
英文併記の必要はありません。

3) 土木学会編:『ニューロンティア地下空間』,技報堂出  
版, pp. 9 ~ 15 , 1990年。

脚注は罫線以下に記載する